

17 竹内松次郎賞授与式

2月28日(金)、全校生徒が出席する中、第2回竹内松次郎賞授賞式が行われました。課題研究で顕著な活動をした生徒やグループを表彰しようと、同窓会の協力を得て昨年度に創設された賞です。

殿上山断層のルート解明を試みた「殿上山断層のルートを追う ～地下水中の2つのイオンに着目した断層のルート調査～」について研究したグループの秋山唯翔さん、梅田陽馬さん、田中悠二郎さん、津田權菜さんら4名が、玉村一男同窓会長から表彰状を受け取りました。同時に竹内氏が細菌学者であったことにちなんで、「試験管型筆立て」が贈られました。これは越前指物で本校の課題研究に長年ご支援を頂いている越前指物工芸上坂様がオリジナルで作成して下さいました。この賞を励みに、課題研究に全校で積極的に取り組んでいってほしいと思います。なお、本研究は令和5年度67回日本学生科学賞福井県審査の最優秀賞も受賞しました。

《 研究の概要 》

2019年度から湧き水などのイオン濃度を調べることで断層ルートを調査してきたが、今回は鯖江市周辺の殿上山断層が2本の断層からなる断層帯を形成していると結論づけた。また、より正確な断層ルートの解明を試みることで、防災への観点も視野に入れて研究に取り組んだ。

《 受賞した生徒の感想 》

- ・研究のために何度も山に登り、水を採取した苦労が実を結び、このような賞を受賞できて嬉しいです。
- ・継続研究によって課題が深まり、研究が深まります。従来の方法に固執せずに、自由な発想で新たな方法で説得力のある魅力的な結論を導いていってほしいです。



授賞式当日の様子